

第31回災害対策本部会議

日時	令和元年12月23日(月) 11:00
場所	市役所本庁舎2階 特別会議室
出席者	市長、吉崎副市長、各特別職、各部局長、福島県、消防本部、郡山医師会、郡山市社会福祉協議会

【部局長報告】

○税務部長

- ・市県民税減免通知の発送状況は、12月23日現在で346件である。
- ・り災証明書交付数は8,286件であり、近日は対面交付がメインとなっている。
- ・二次調査が増加している。また居住実績が確認できない方等の交付が伸び悩んでおり、12月30日まで対面発行を継続する。

○保健福祉部長

- ・避難所開設12月23日(月)10時現在で、指定避難所は8カ所、避難者数は56世帯123名、うち宿泊者数は35世帯56名である。田村公民館、小原田地域公民館は本日で避難所閉鎖を予定している。
- ・12月25日までにほぼ避難所は解消の見込みであるが、移転先が未定の方々のために、引き続き支援を行う。

○保健所長

- ・台風第19号に係る消毒作業について、1,338件の依頼があり、1,307件が終了しており12/27をもって消毒作業は終了を予定している。

【各団体等】

○福島県県中地方振興局

- ・引き続き避難所支援に職員を派遣していく。

【市長から】

- ・今年も押し迫ってきたが、り災証明、税の減免と作業が続く。迅速さも大事であるが税の公平感等も念頭に、市民理解を図っていくこと。
- ・赤木小学校、永盛小学校が本日から自校での授業を再開した。
- ・校舎のみならず、通学路や学校周辺の道路事情等をチェックし、子どもたちの安全対策に万全を期すこと。
- ・今回の水害の記録を残すことが今後の防災対策に役に立つ。町内会等地域からの情報も収集しまとめることで、SDGs 13「気候変動に具体的な対策を」への有効な資料となる。